

CABINEX-KZ

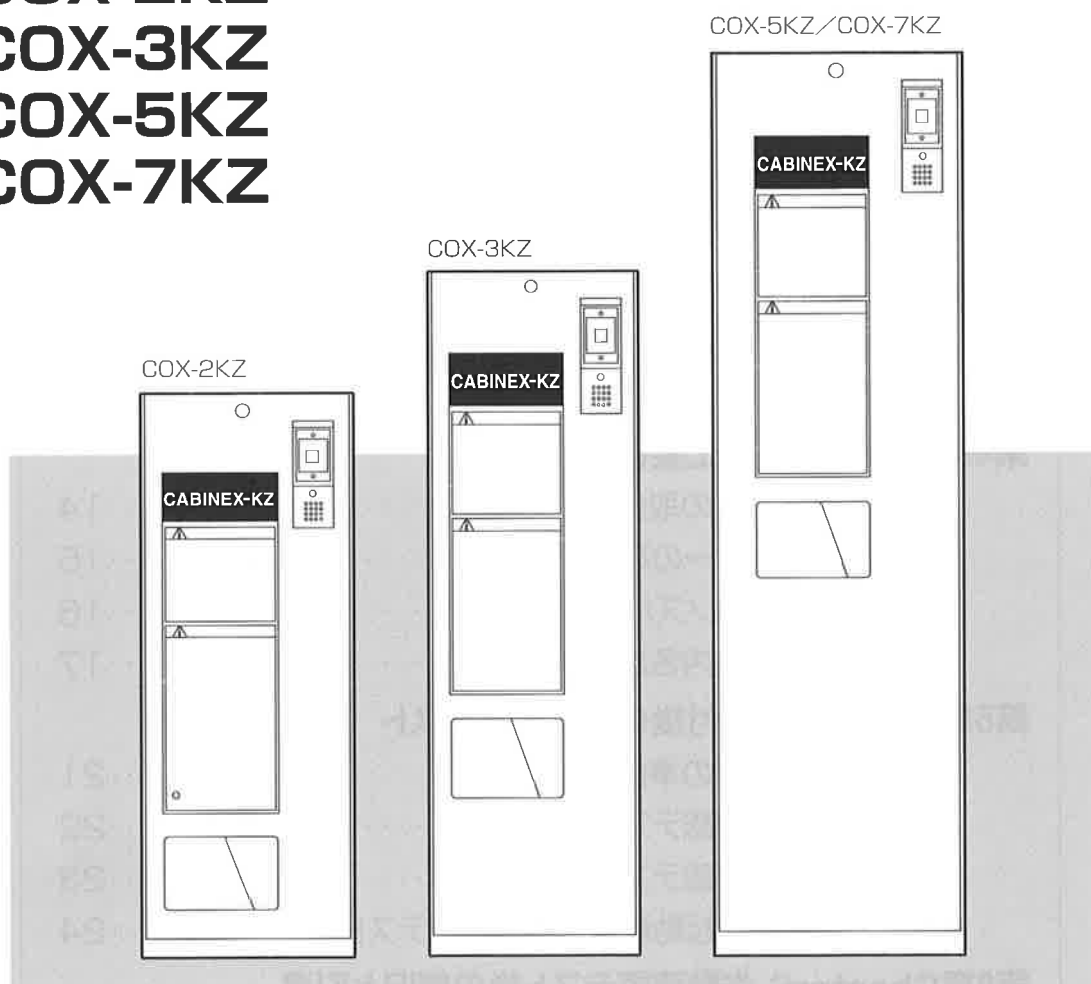
キャビネックスKZ

COX-2KZ

COX-3KZ

COX-5KZ

COX-7KZ



取扱説明書

Cabinex-KZタイプをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
このCabinex-KZタイプは、防護対象物の火災に対し、火災検知から消火までをフル
オートで行い、防護対象物内の火災を消火いたします。万一の火災時には必ずお役に
立ちますので、この取扱説明書をよくご覧の上、正しいご利用のほど、よろしく
お願い申し上げます。

2004.5~

INDEX ●目 次●

第1章Chapter1 重要情報

- 1.使用上の重要情報 1
- 2.設置上の重要情報 2
- 3.維持・点検上の重要情報 3
- 4.その他の重要情報 4

第2章Chapter2 概要

- 1.施工例図 6
- 2.主な仕様 7
- 3.本体機器図と各部名称 8

第3章Chapter3 制御部の働きと端子への接続方法

- 1.フローチャート 12
- 2.外部機器接続図 13

第4章Chapter4 施工要領

- 1.本体格納箱の取付 14
- 2.火災センサーの取付 15
- 3.消火剤放出ノズルの取付と配管 16
- 4.本体格納箱内各部品の組込 17

第5章Chapter5 取付後の作動確認テスト

- 1.作動確認前の準備 21
- 2.自動作動確認テスト 22
- 3.手動作動確認テスト 23
- 4.ガス発生式起動装置の導通確認テスト 24

第6章Chapter6 作動確認テスト後の復旧と引渡

- 1.正常な監視状態への復旧方法 25
- 2.エンドユーザーの工場での取付の場合 26
- 3.機械メーカーの工場での取付の場合 26

第7章Chapter7 キャビネックスKZの維持点検

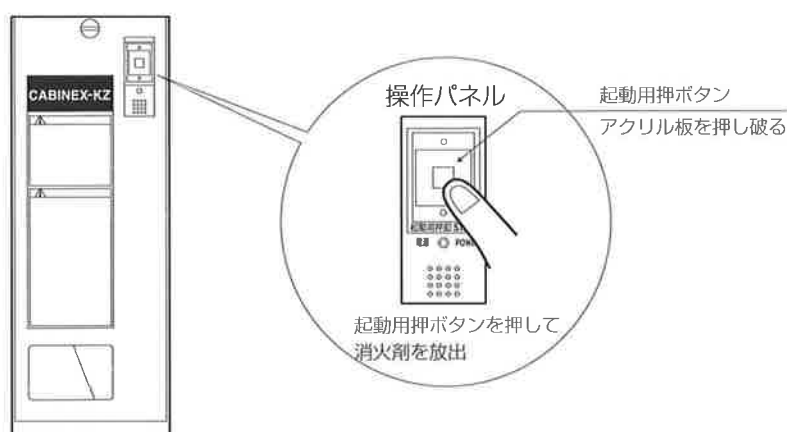
- 1.日常点検 27
- 2.定期点検 28
- 3.作動後の処置 28

- (付則) ●保守点検実施カード 29

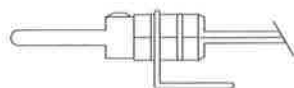
第1章 重要情報

1.使用上の重要情報

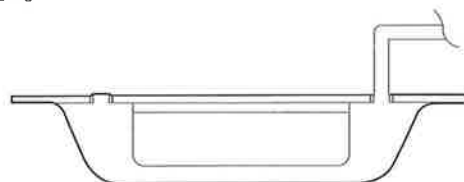
- ①キャビネックスKZは自動消火システムです。
火災時には防護対象物内に設置された熱センサーが作動し、自動的に消火剤を放出して消火します。
- ②キャビネックスKZは手動操作による起動もできます。
熱センサーが火災を検知する前に目視などで火災を発見した場合には、起動用押ボタンを押すと消火剤を放出して火災を消火させることができます。



- 注意 ③指定の熱センサー以外を使用すると、十分な機能を発揮しなかったり、故障の原因となったりすることがあります。キャビネックスKZの火災検知には必ず指定の熱センサー(初田製THセンサーかフェンオール社製熱感知器)を使用してください。



初田製THセンサー



フェンオール社製熱感知器

- 警告 ④キャビネックスKZの作動時には必ず一旦室外に退避してください。二酸化炭素消火薬剤での窒息と冷却効果による消火原理ですので、消火剤放出時には一時的に周囲の酸素濃度が著しく低下することがあり、危険です。



一旦室外に退避

- 警告 ③消火剤放出後は、換気扇やファンを作動させたり、出入り口の扉を開けたりして、防護対象物周辺の換気を充分に行ってください。二酸化炭素消火薬剤や火災による危険なガス等が周囲に充満することがあり、危険です。

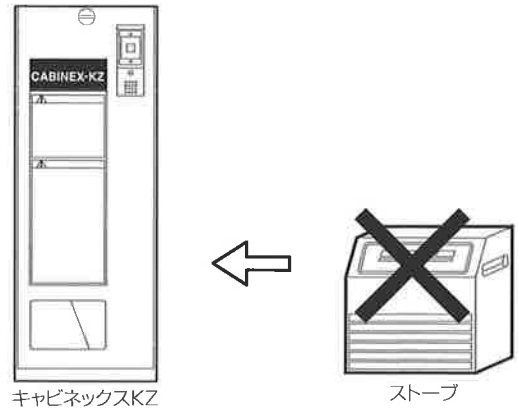
Chapter 1

CABINEX-KZ

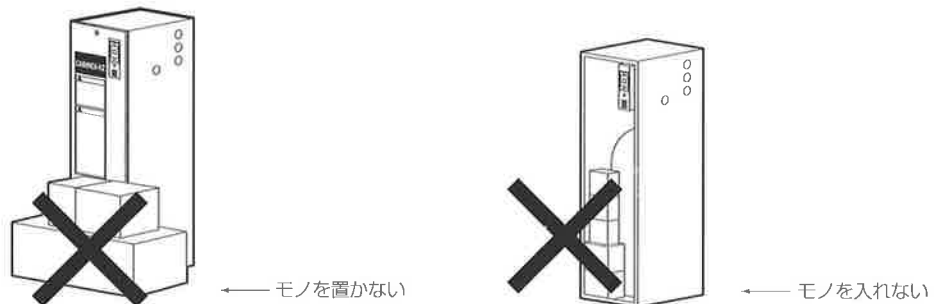
2.設置上の重要情報

注意 ①機能上支障が出たり故障の原因になることがありますので、キャビネックスKZは周辺環境温度が0℃～40℃の範囲の場所に設置してください。

警告 ②キャビネックスKZには、40℃以上の高温になる熱源を近づけないでください。消火剤貯蔵容器の内部圧力が上昇し、消火剤を異常放出したり、破裂したりして危険です。



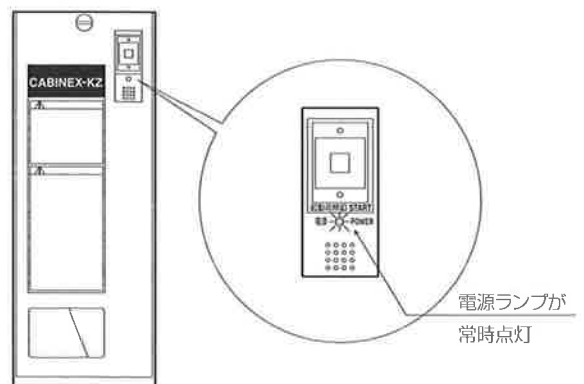
注意 ③操作上の障害や故障の原因になることがありますので、キャビネックスKZの本体格納箱の上部や前にモノを置いたり、内部にモノを入れたり、みだりに切削油等をかけたりしないでください。



注意 ④キャビネックスKZは部分破損によっても機能が発揮できない場合がありますので、放出ノズル、熱センサー、配管、配線等を破損しないでください。

注意 ⑤防護対象物の扉が開いていると、火災の検知が遅れたり、放出された消火剤が飛散して消火できない場合がありますので、運転中は防護対象物の扉を必ず閉めてください。防護対象物に排気装置を接続して強制換気を行っている場合も同じ事が考えられますので、消火装置連動ダンパーを取付け、消火剤放出時にはダンパーを閉鎖させてください。扉が開いていたり、強制排気したままの状態では、火災時に熱センサーが作動しなかったり、放出された消火剤が外部に逃げて消火できない場合があります。

注意 ⑥キャビネックスKZへの供給電源は専用電源を使用し、必ず常時入り(電源ランプが常時点灯)の状態にしてください。電源が供給されていないとキャビネックスKZはまったく機能しません。



3.維持・点検上の重要情報

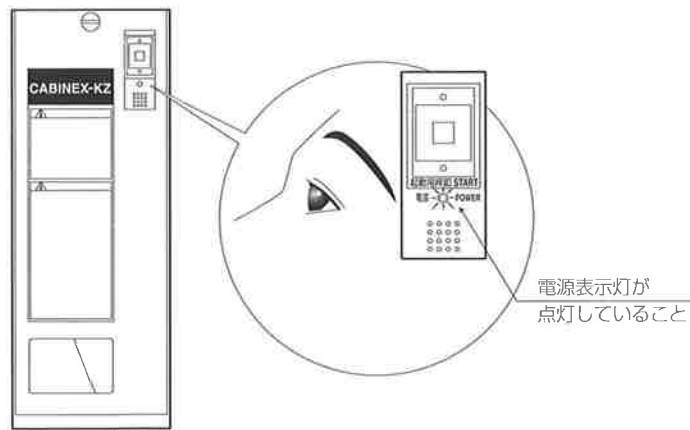
■注意 ①始業前には必ず「キャビネックスの日常点検」を行ってください。

特に次の点には充分注意してください。

- ・ 正確に電源が供給され、電源表示灯が点灯していること。
- ・ 起動装置から出ているコネクタと端子台から出ているソケットが正確に接続されていること。

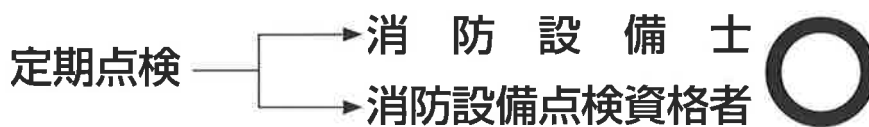
(未接続の場合、電源表示灯が点滅し、ブザーがフリッカーします。)

その他の日常点検の詳細は、取扱説明書の日常点検の項を参照してください。

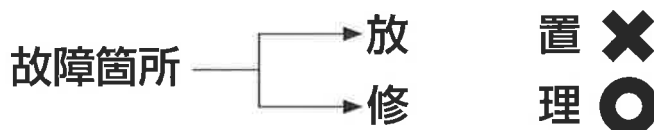


■注意 ②消防設備士か消防設備点検資格者等の専門家による定期点検(半年に一度の外観機能点検・一年に一度の総合点検)を必ず行ってください。

その他の定期点検の詳細は、取扱説明書の定期点検の項を参照してください。
定期点検は納入会社やサービス会社でもできますが、この場合は有料です。



■注意 ③点検等により損傷や故障箇所が見つかった場合、そのまま放置すると火災時に十分な機能が発揮できないことがありますので速やかに補修してください。



■注意 ④キャビネックスKZのシステム全体としての機能上の耐用年数は10年です。設置後5年を経過したものについては、総合点検の実施およびその際の指定交換部品の取り替えを行い、総合点検の結果、不良が認められた部品については取り替えを行ってください。

■指定交換部品：ガス発生式起動装置・火災センサー(熱センサー)

Chapter 1

CABINEX-KZ

4. その他の重要情報

- 注意 ①エンドユーザーへの引き渡しは必ずキャビネックスKZが自動起動が可能な正常な監視状態にセットしてから、検査要領書に従い確認し、検査合格確認書にエンドユーザーの確認印(またはサイン)をもらってください。
- 注意 ②エンドユーザーの要望でやむを得ず自動起動できない状態(電源供給断等)で引き渡す場合は、後日トラブルのもととなることがありますので、検査合格確認書にその旨を記載し、エンドユーザーの確認印(またはサイン)をもらってください。
この場合は、防護対象物の稼働開始前に必ずエンドユーザー側で正常な監視状態にしてください。

(機械・装置メーカーへの納入会社記入欄)		
会社名 住 所	担当	担当印

(機械・装置メーカー殿確認欄) ■立会確認日:平成 年 月 日

会社名 住 所	ご担当部署 ご担当者名	ご担当印
------------	----------------	------

(エンドユーザーへの納入会社記入欄)

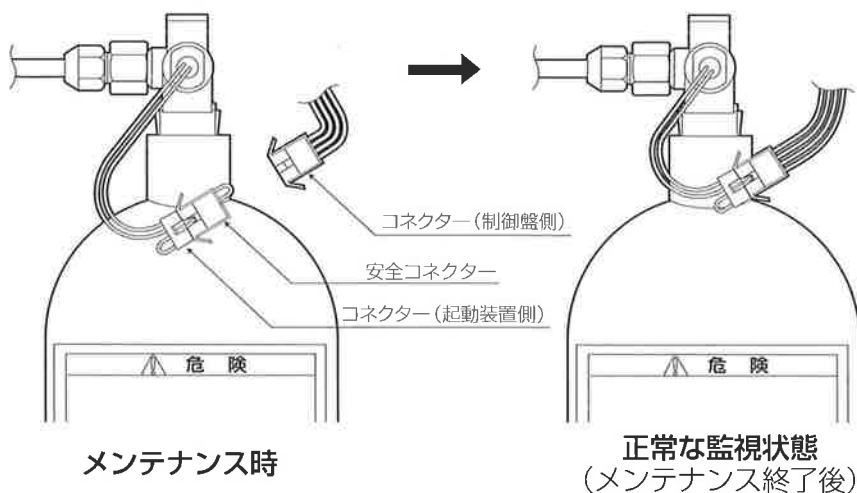
(エンドユーザー殿確認欄) ■立会確認日:平成 年 月 日		
会社名 住 所	担当	担当印

(エンドユーザー殿確認欄) ■立会確認日:平成 年 月 日

会社名 住 所	ご担当部署 ご担当者名	ご担当印
------------	----------------	------

- 警告 ③キャビネックスKZを誤って作動させると危険ですから、防護対象物(工作機械等)のメンテナンスを行うときは、起動装置側のコネクターを制御盤側のコネクターより取り外してから行ってください。

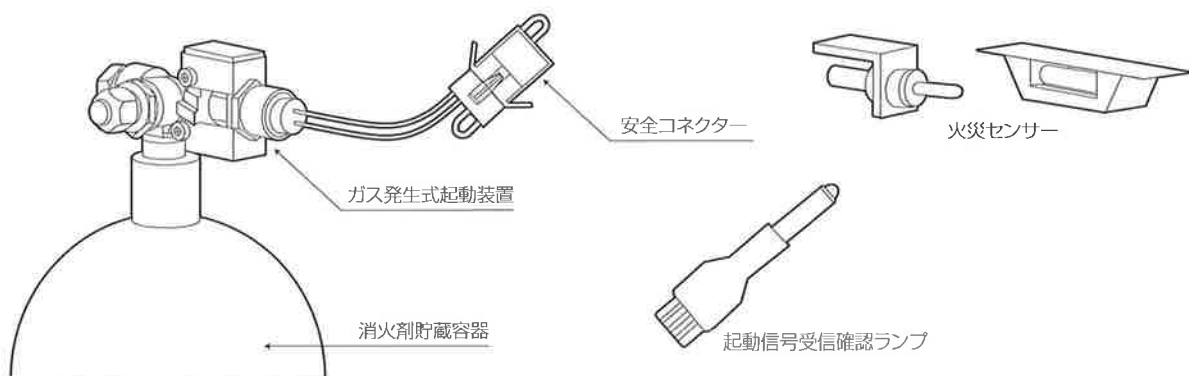
又、作業中は必ず起動装置側のコネクターに安全コネクターを差し込んでください。安全コネクターを入れずに作業をすると作業中に静電気で作動することがあります。
なお、防護対象物のメンテナンス終了後は、必ず起動装置側のコネクターを制御盤側のコネクターに差し込んで、確実に接続し正常な監視状態に復旧してください。



- 注意 ④生産ライン等の変更で、キャビネックスKZを取付けてある防護対象物(工作機械等)を移設する場合は、消防設備士か消防設備点検資格者等の専門家がいる納入会社かサービス会社に連絡して、移設時の機能確認検査(有料)を必ず受けてください。

防護対象物移設 → 機能確認検査 ○

- 注意 ⑤コネクターを外すと電源ランプが点滅し、ブザーがフリッカー(断続鳴動)します。又異常通報も作動しますので、工作機械側でインターロックをとっている場合は、工作機械が停止する事があります。
- 危険 ⑥ガス発生式起動装置を正規のセット状態以外でテストを行った場合、破損する恐れがあります。やむを得ず起動テストをする場合は、必ず堅固に固定された空容器に取付けてテストを行ってください。
- 警告 ⑦ガス発生式起動装置の取付用ネジ部以外の分解、増し締め及び火気投入、著しい衝撃、静電気を与えないでください。破裂する恐れがあります。
- 注意 ⑧ガス発生式起動装置は使い捨てです(一度しか使用できません)。作動テストの際は専用の起動信号受信確認ランプを代わりに取付けて行ってください。
- 注意 ⑨ガス発生式起動装置及び火災センサーの耐用年数は設置後5年です。耐用年数を経過したもの、使用済みのものは弊社にご返却ください。
- 警告 ⑩ガス発生式起動装置を返却する時は必ず安全コネクターを入れて弊社へご返却ください。入れずに輸送すると、静電気で作動する恐れがあります。



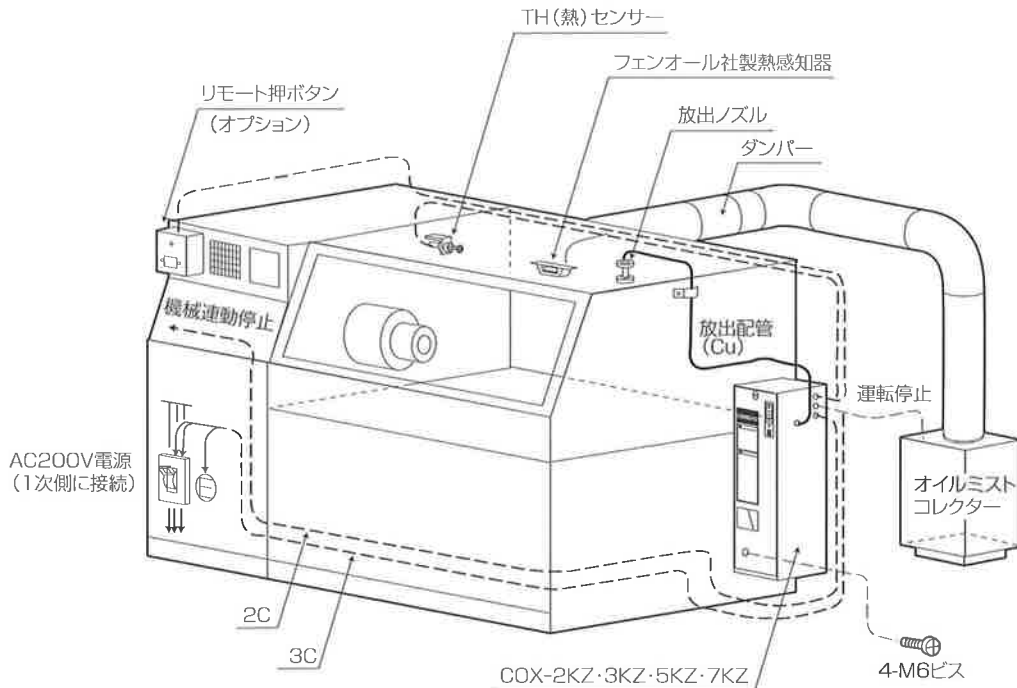
Chapter 2

CABINEX-KZ

第2章 概要

1. 施工例図

①NC旋盤へのCOX-3KZ施工例図



②施工例図の説明

・標準タイプのCOX-3KZでも十分な機能を有していますが、施工例図ではCOX-3KZをベースに様々なオプションを装備しています。

1：センサーの追加

標準のTHセンサーに加え、フェンオール社製熱感知器を装備し、2個のセンサーのうちどちらか早い方の火災検知でシステムが起動します。

2：リモート押ボタンの追加

COX-3KZは自動消火システムですが、目視による火災発見が早い場合、押ボタン操作によりシステムを手動起動させることができます。リモート押ボタンを設け、操作パネル上の起動用押ボタンとふたつのうち、操作しやすい方でシステム起動ができます。

3：連動停止システム

この場合は、COX-3KZの起動と同時にNC旋盤の動作停止と排気ダンパーの閉鎖を行い、より消火効果を高めると共に、火災の再発を防止します。

消火装置連動ダンパーは必ず設置！

2.主な仕様

キャビネックスKZ

選 定 →					
型 式 記 号		COX-2KZ	COX-3KZ	COX-5KZ	COX-7KZ
格 納 箱	外形寸法(mm)	480×180×230	580×180×230	760×210×250	760×210×250
	消火薬剤量	2kg	3.2kg	4.6kg	6.8kg
	本体重量	約16kg	約20kg	約26kg	約33kg
	塗装仕様	塗色：赤色(日塗工J2-142)メラミン焼付塗装			
	材質	SPCC			
制	使用温度範囲	0℃～40℃			
	入力電圧	AC200V±10% 50/60Hz			
	消費電力	8VA最大			
	操作回路電圧	DC24V			
	警報ブザー	起動時：連続音 異常時：断続音			
	電源表示灯	緑色 正常時：点灯 異常時：点滅 停電時：消灯			
	感知器入力	1系統 SI-70EF用			
御	熱検知入力	2系統(70℃固定)THKS用			
	起動用押ボタン	赤色押ボタン(破壊アクリル板付)			
盤	機械停止	c接点×1			
	異常通報	c接点×1			
	接点仕様	接点容量：60W・125VA最大 最大電流：1A 最大電圧：AC250V・DC200V			
	リモート押ボタン	オプション(遠隔起動用押ボタン)			
	増設リレーユニット	オプション(c接×4・無電圧接点)			
	圧力SW	オプション(消火剤減圧監視用・工場出荷時にしか対応出来ません)			

※標準価格内出荷部品

2KZ・3KZ：センサー1個+ノズル1個
5KZ・7KZ：センサー2個+ノズル2個

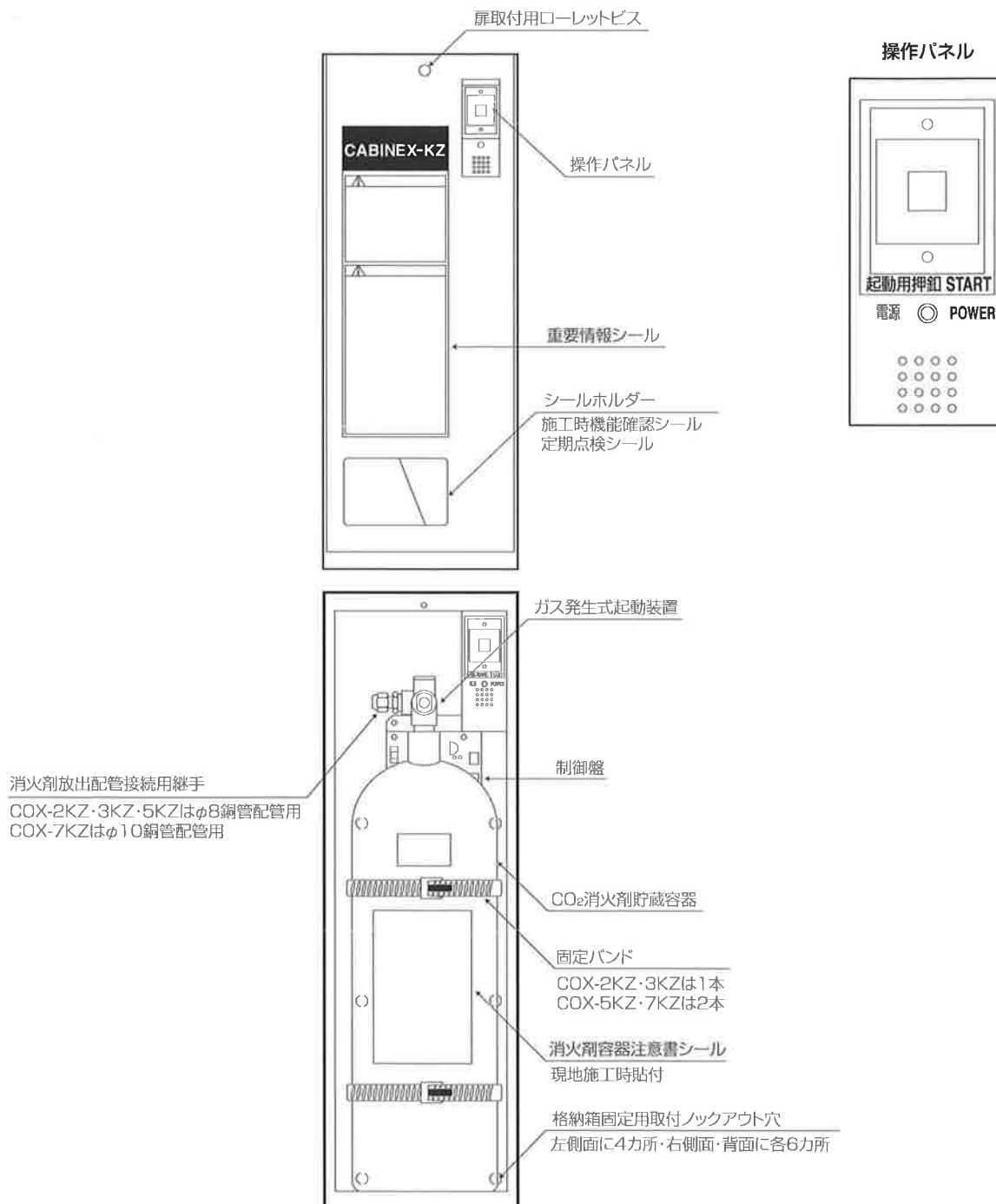
※標準価格外出荷部品

2KZ・3KZ・5KZ：φ8銅管×10m配管用部品
7KZ：φ10銅管×10m配管用部品

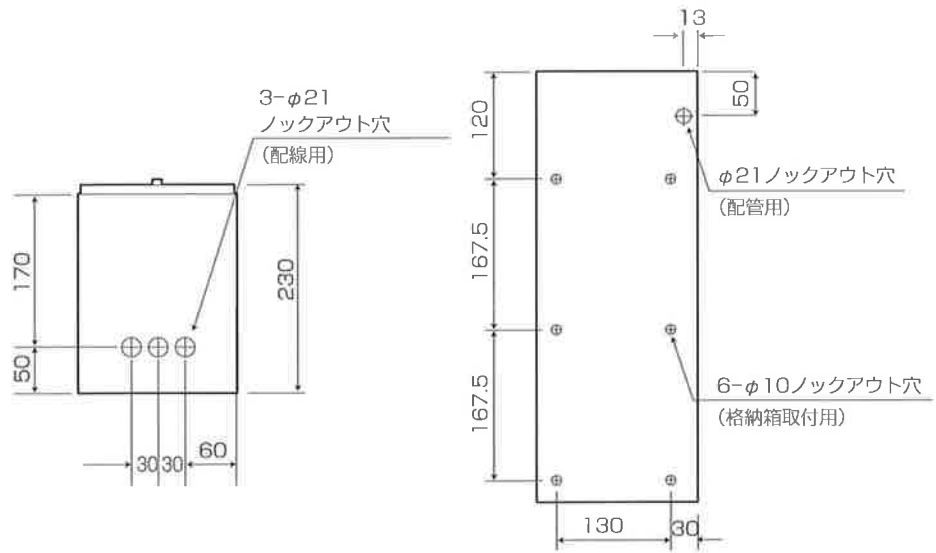
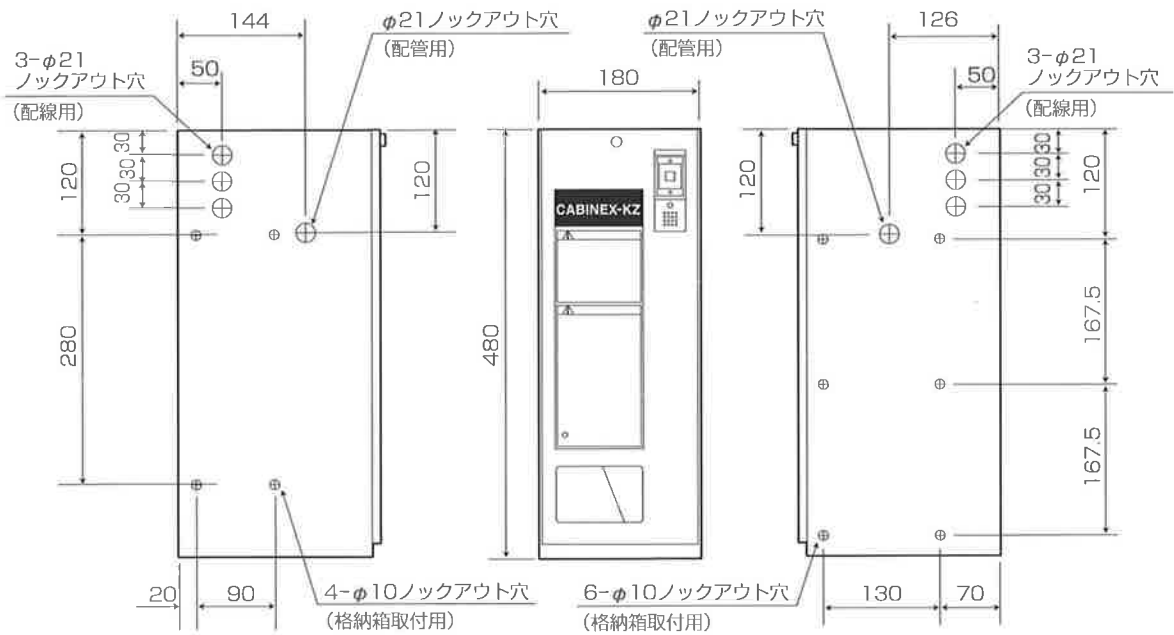
Chapter 2

CABINEX-KZ

3. 本体機器図と各部名称



■COX-2KZ



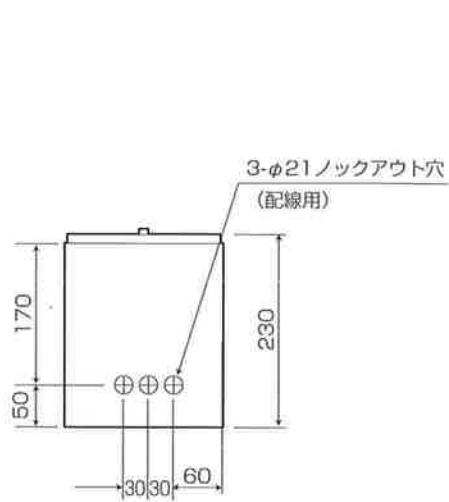
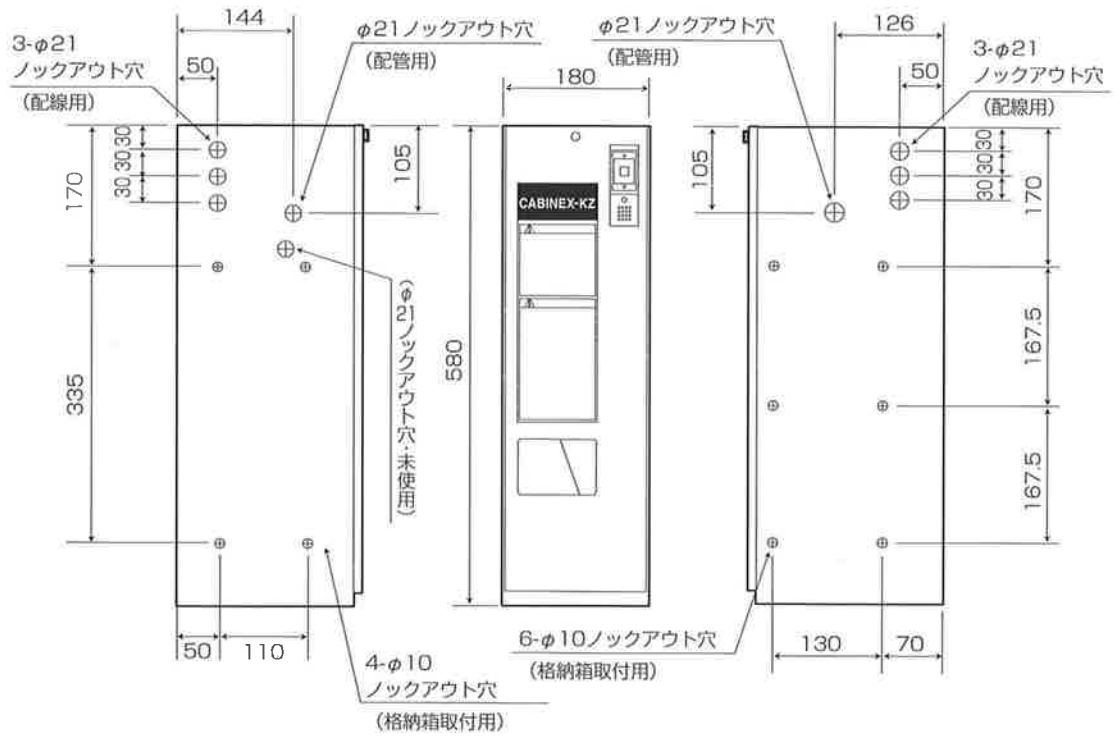
底面図

背面図

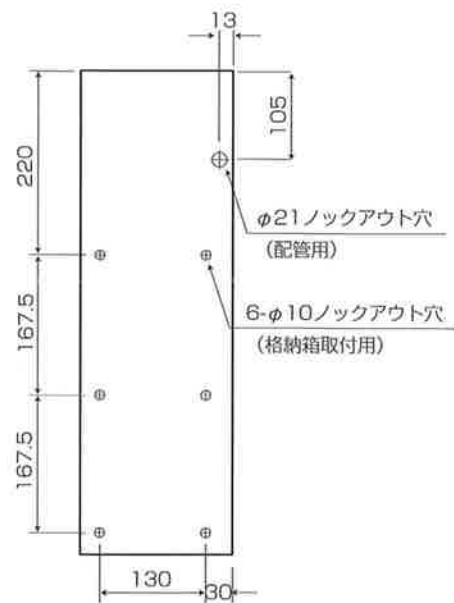
Chapter 2

CABINEX-KZ

■COX-3KZ



底面図

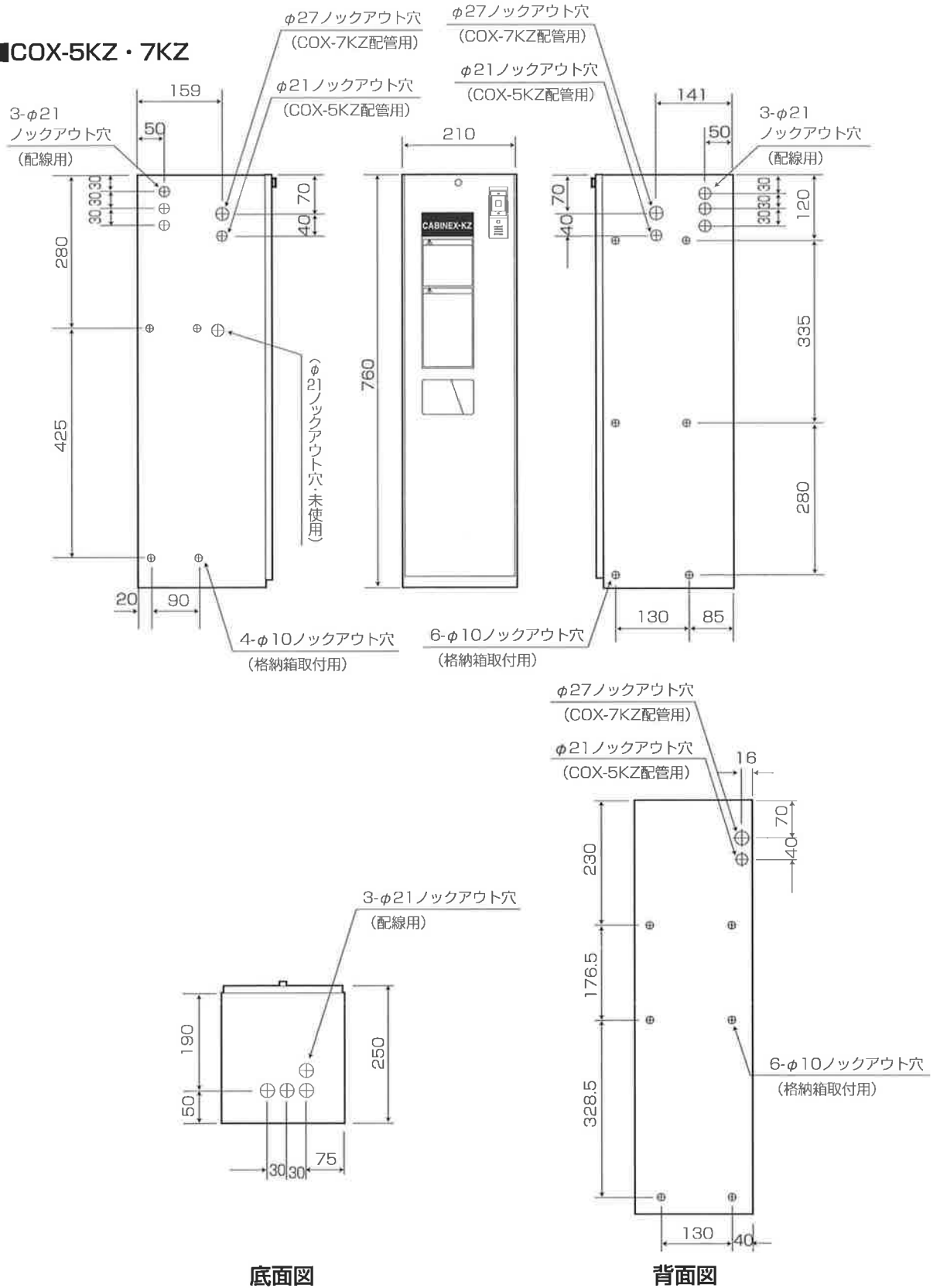


背面図

Chapter 2

CABINEX-KZ

■COX-5KZ・7KZ



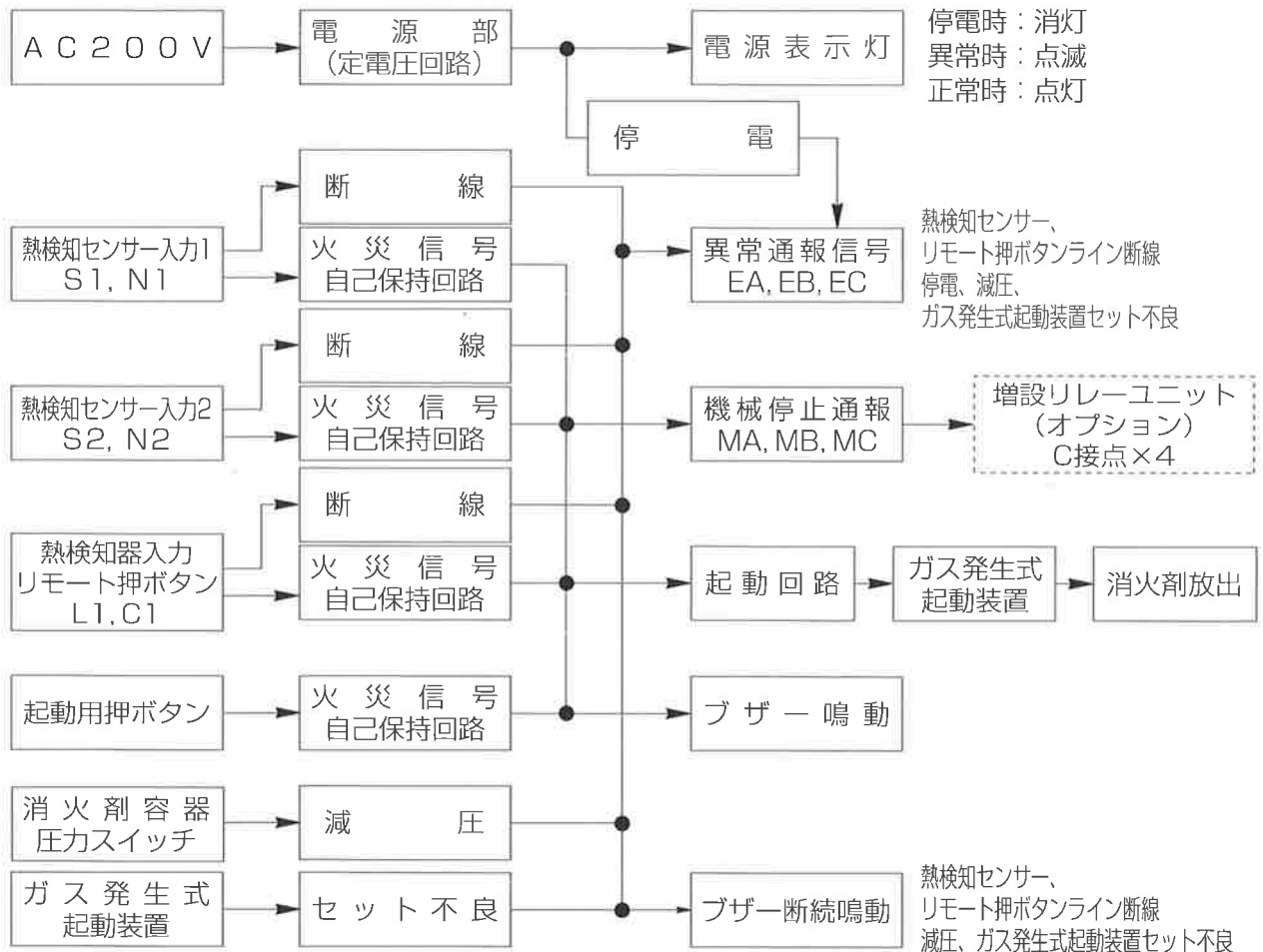
Chapter 3

CABINEX-KZ

第3章

制御部の働きと端子への接続方法

1.フローチャート



圧力スイッチ、リモート押ボタンはオプションです。

①機械停止リレーの作動条件

次の条件のうち、いずれかひとつの条件で機械停止リレーが作動します。

- ・ THセンサーの入力信号が入る。
- ・ 熱感知器の入力信号が入る。
- ・ 起動用押ボタン(またはリモート押ボタン)を押す。

②ブザーの鳴動と停止方法

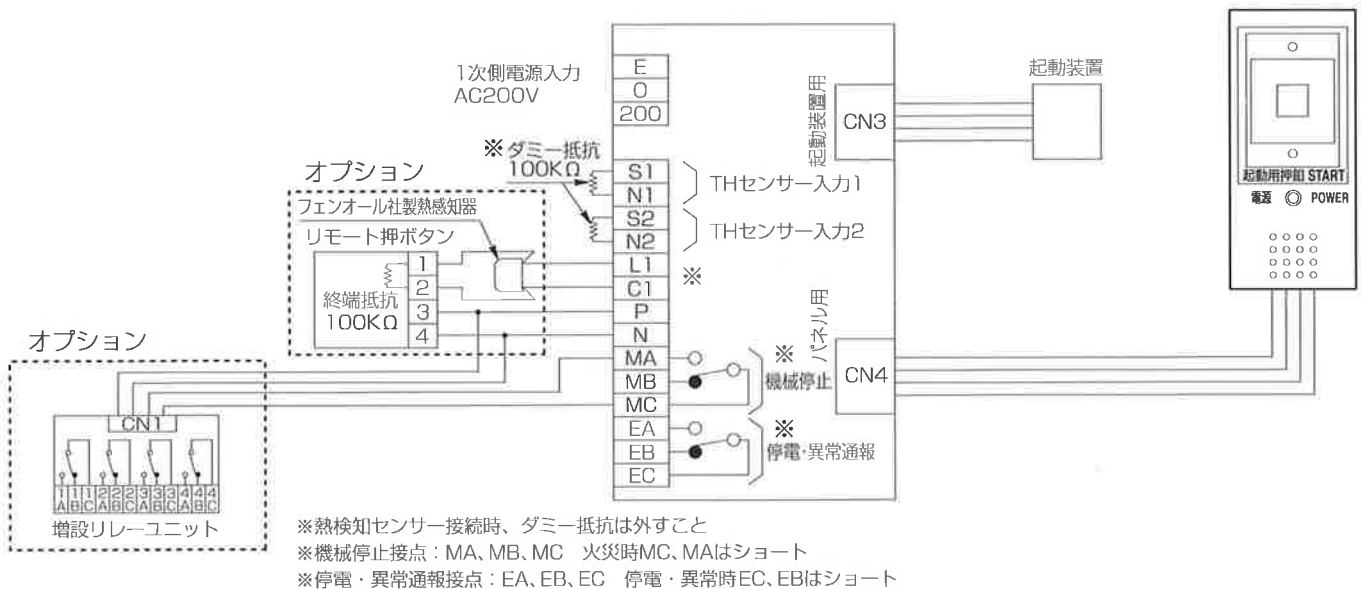
キャビネックスKZが起動するとブザーが鳴り続けます。ブザーを停止させたいときは、扉を開け制御ユニットの電源スイッチを切って(OFF側に倒す)ください。

③異常通報リレーの作動条件

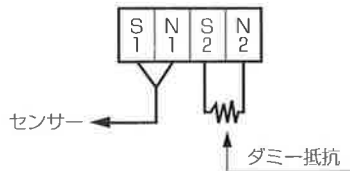
次の条件の内、何れか一つの条件で異常通報リレーが作動します。

- ・ 火災検知センサーの断線(リモート押ボタン又は感知器の断線も含む)。
- ・ ガス発生式起動装置のコネクターを外す。
- ・ 制御盤の電源を切る。

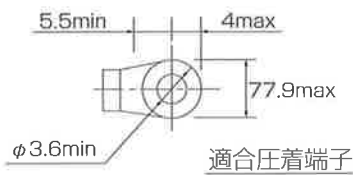
2.外部機器接続図



■センサーを1個接続の図

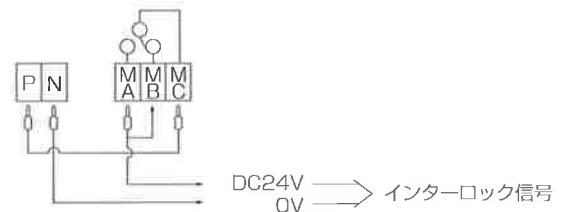


一次側電源入力

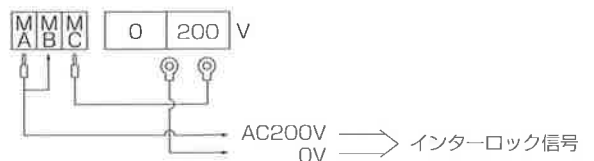


■PとNを利用した結線図

出力定格 DC24V・最大0.04A



■0Vと200Vを利用した結線図



- 注意 ① THセンサーを接続する時は、接続する端子にあらかじめ接続されているダミー抵抗を取外してから接続してください。
- 注意 ② フェンオール社製熱感知器やリモート押ボタンを接続する時は終端に100K Ω を接続してください。THセンサー、フェンオール社製熱感知器やリモート押ボタンの配線には0.3mm²以上の耐熱ケーブルを使用してください。
- 注意 ③ 有電圧接点を利用する場合は、使用する機器等の使用電流や使用電圧に注意してください。

Chapter 4

CABINEX-KZ

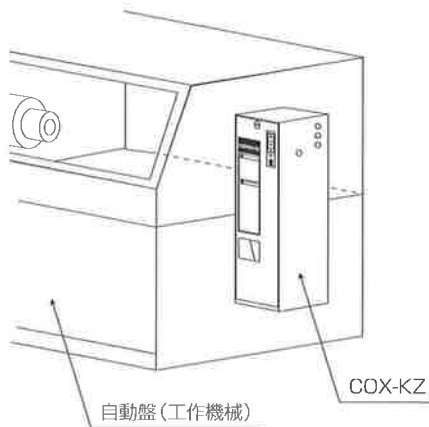
第4章 施工要領

1. 本体格納箱の取付

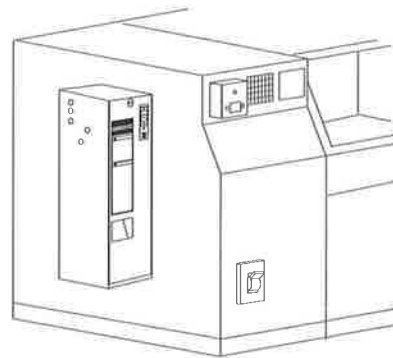
キャビネックスKZの本体格納箱の取付けは、次の要領で行ってください。

- 注意
- ① 本体格納箱の取付位置(自動盤等の側面)を決めてください。取付位置は周囲の環境温度が0℃～40℃の範囲におさまる場所にしてください。
 - ② 取付位置が決まれば、本体格納箱の背面または側面にある取付用穴寸法に合わせ、取付相手側に印をつけ、ドリルで取付用穴を開けてください。
 - ③ 扉の固定は、付属のローレットビスに脱落防止用パッキンを取付け、必ず手締めにて堅固に組み立ててください。(工具を使用するとネジ部が破損する事があります。)

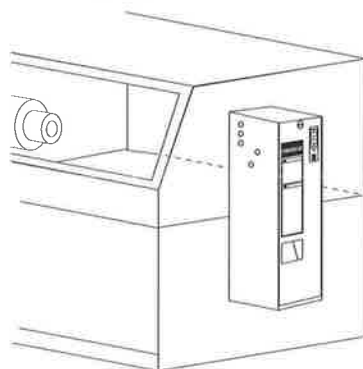
左側面止め例図



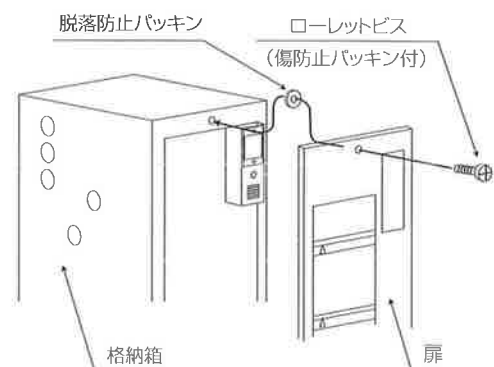
右側面止め例図



背面止め例図



扉取付図

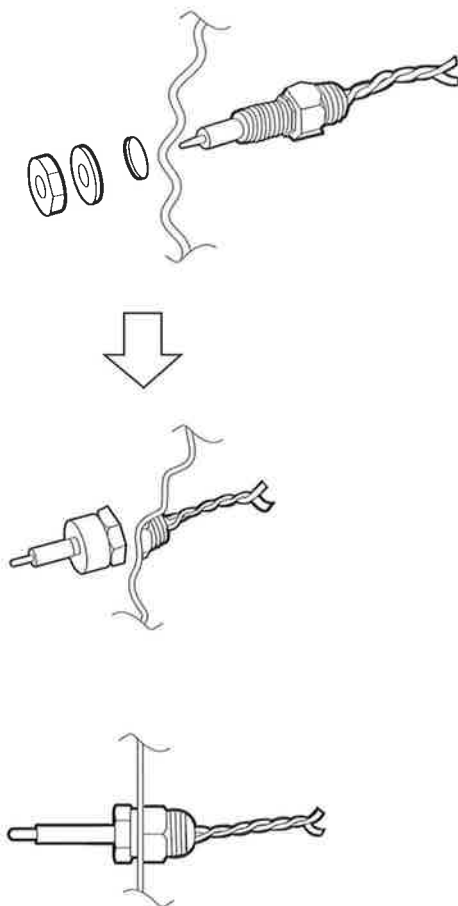


2. 火災検知センサーの取付

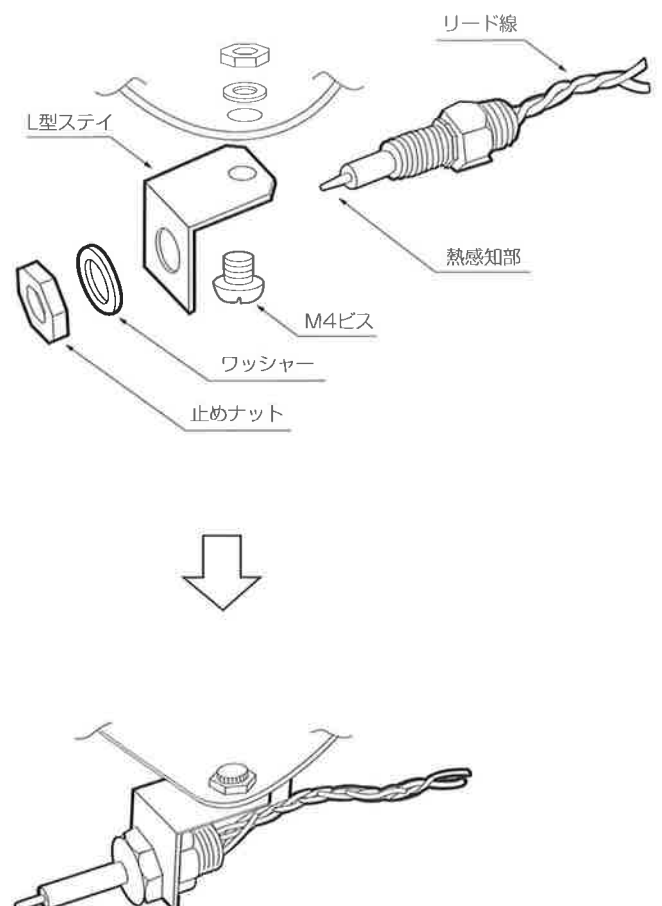
キャビネックスKZの火災検知用センサーの取付けは次の要領で行ってください。

- 注意 ①指定の熱センサー以外を使用した場合、故障の原因となることがありますので、必ず指定の熱センサーを使用してください。
- 注意 ②熱センサーは熱反応式ですので、火災が発生した際に火災熱に反応しやすい場所(加工部直上の天上面等)を選んで取付位置を決定してください。
- 注意 ③加工液等による影響を受けることがありますので、熱センサーのリード線は工作機械等の加工部内から最短距離で外部に出るように配線してください。
- 注意 ④熱センサーのリード線の配線に緩みや弛みがあると引っかけたりして、事故や故障の原因になり危険です。熱センサーのリード線は緩みや弛みのないようインシュロック等で必ず結束してください。
- 注意 ⑤THセンサーの固定は下図を参考に行ってください。
この時、防護対象物の震動で緩んだりしないよう、しっかり締め付けて固定してください。

■ 機械に直接取付する場合



■ L型ステイを使用する場合



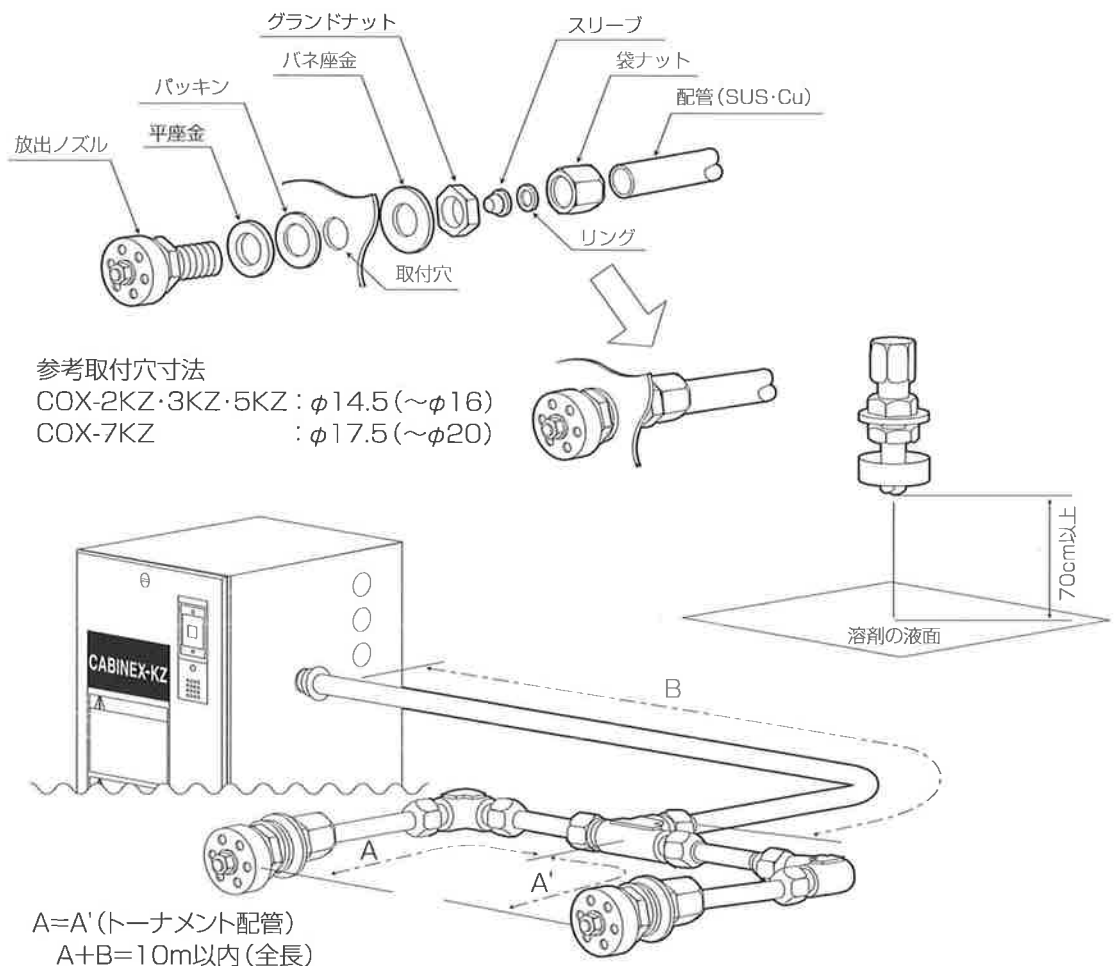
Chapter 4

CABINEX-KZ

3.消火剤放出ノズルの取付と配管

下図を参考にして、放出ノズルの取付けや配管を行ってください。

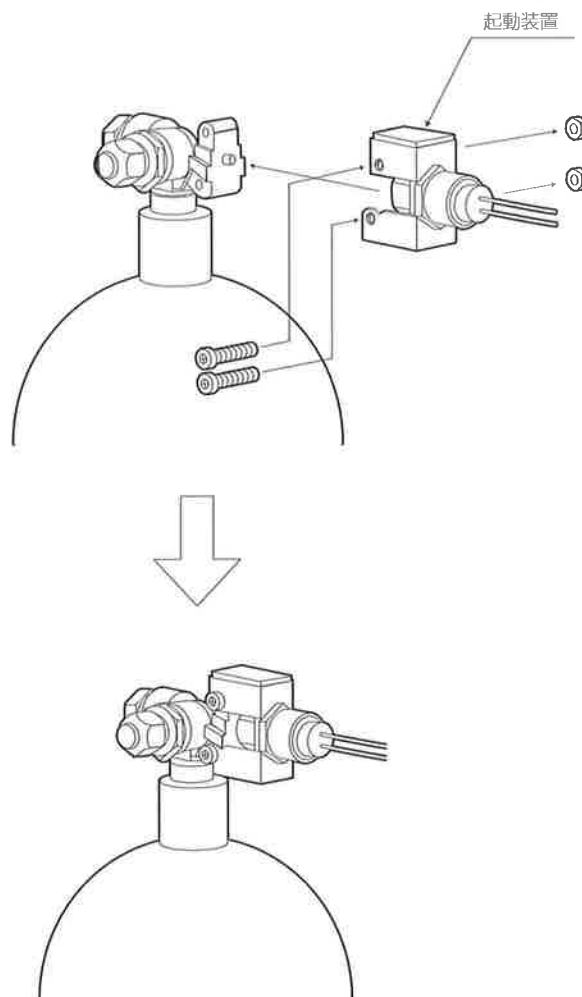
- 注意 ①放出ノズルはノズル筒先が自動盤等の加工部方向に向くように取付けてください。
- 注意 ②放出ノズルは加工部の天上面や壁面に固定用の穴を開け、固定してください。この時工作機械等の震動でゆるんだりしないよう、しっかり締め付けて固定してください。
- 注意 ③放出ノズルを2個以上取付ける場合は、分岐部にチーズを用いてトーナメント配管にして、消火剤が均等に放出されるようにしてください。
- 注意 ④配管をあまり鋭角に曲げると折れたり変形したりします。配管を曲げる場合は緩やかなカーブ(配管径の3倍以上)にしてください。
- 注意 ⑤配管は本体格納箱取付位置の近くまで配管してください。
- 注意 ⑥可燃性溶剤の液面火災を消火する場合、放出ノズルをあまり近づけすぎると消火剤の放出圧力によって液剤を飛散させてしまうことがあり、危険です。
放出ノズルは溶剤の液面から70cm以上離れた位置に取付けてください。



4. 本体格納箱内各部品を組み込

本体格納箱内の各部品は、下図を参考にしながら次の要領で組み込んでください。

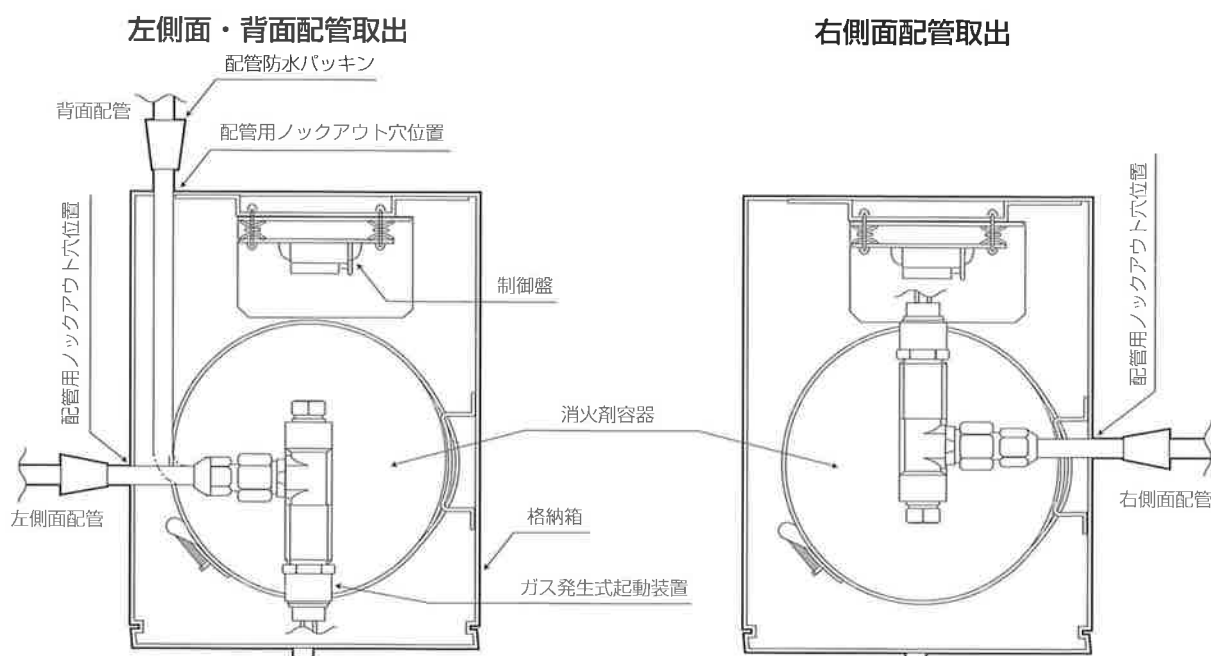
- 注意 ①誤って作動することがありますので、必ずキャビネックスKZの電源を遮断(または遮断されていることを確認)してから、組み込作業を行ってください。
- 警告 ②消火剤貯蔵容器には二酸化炭素が高圧充填されていて危険です。次の注意事項を守って取扱には充分注意してください。
 - ・貯蔵容器に強い外圧や衝撃等を与えないこと。
 - ・貯蔵容器のシリンダー部分を持ち上げないこと。
 - ・貯蔵容器の分解・改造等をしないこと。
 - ・貯蔵容器は、周囲の環境温度が常時40℃以下の場所に設置して、高温状態にさらさないこと。
- ③下図を参考に、消火剤貯蔵容器に起動装置を取付けてください。



Chapter 4

CABINEX-KZ

- ④格納箱の取付位置等により配管取出し向きを決定しロックアウト穴を開けてください。
- ⑤COX-KZは配管取出し向きにより消火剤容器の向きが変わります。下図を参考に消火剤容器の向きを決定し、外部から格納箱内部に導管を配管してください。(図はCOX-KZを上から見た透視図です。)
- ・配管時にあらかじめ付属の防水パッキンを導管に取付け、作業を行ってください。
 - ・配管の締め付けは消火剤が漏れないよう、確実に行ってください。

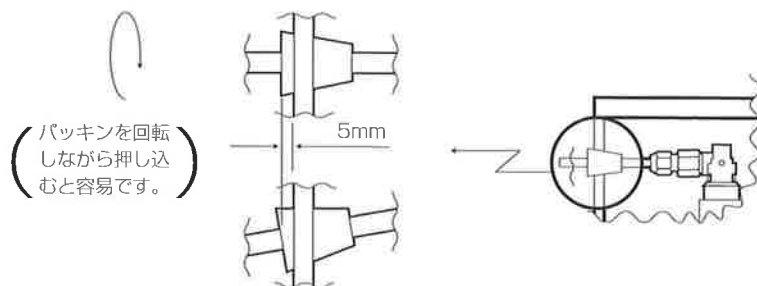


- ⑥配管防水パッキンは下記の指示に従って、外部から溶剤、油等が格納箱内部に入らないように確実に固定してください。

1. 配管パッキン接触部分及びロックアウト穴の縁にはグリスを塗布してください。



2. 配管防水パッキンはおおむね突出量が格納箱の外部に5mm程度まで押し込んでください。

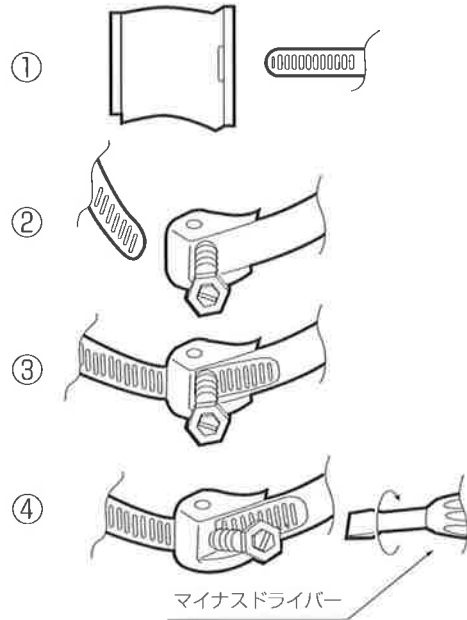
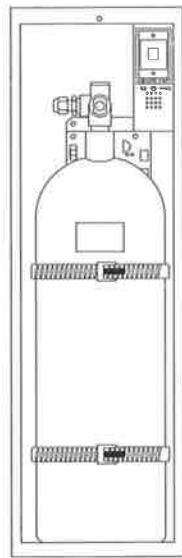


Chapter 4

CABINEX-KZ

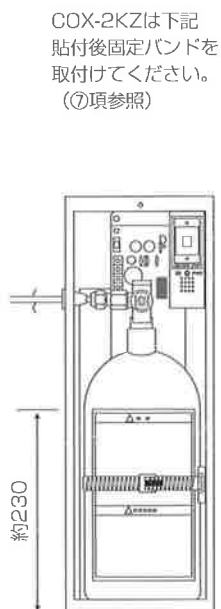
⑦格納箱に消火剤貯蔵容器を固定バンドで固定してください。この時、工作機械等の振動で緩んだりしないよう、しっかり締め付けて固定してください。

- ・COX-2KZについては固定バンド取付前に消火剤容器に関する重要情報シールを先に貼付けてください。

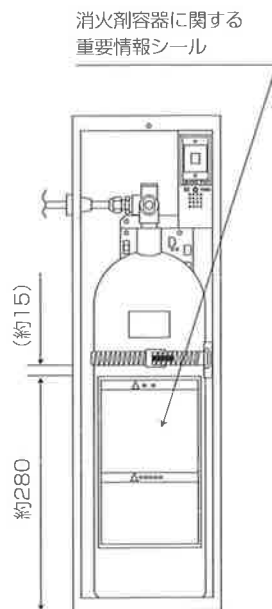


⑧付属の消火剤貯蔵容器に関する重要情報シールを正面にかつ固定バンドを避けて(COX-2KZは除く)貼付けてください。

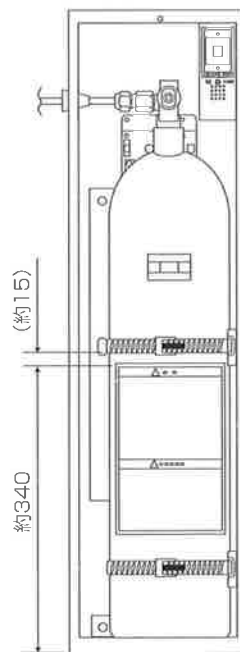
COX-2KZ



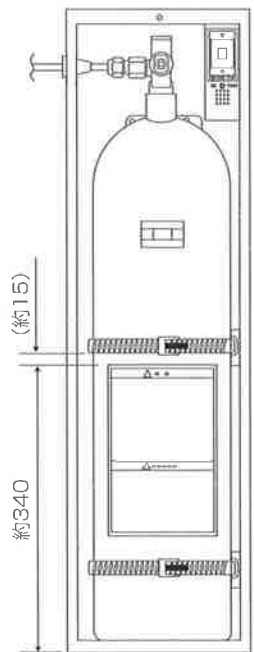
COX-3KZ



COX-5KZ



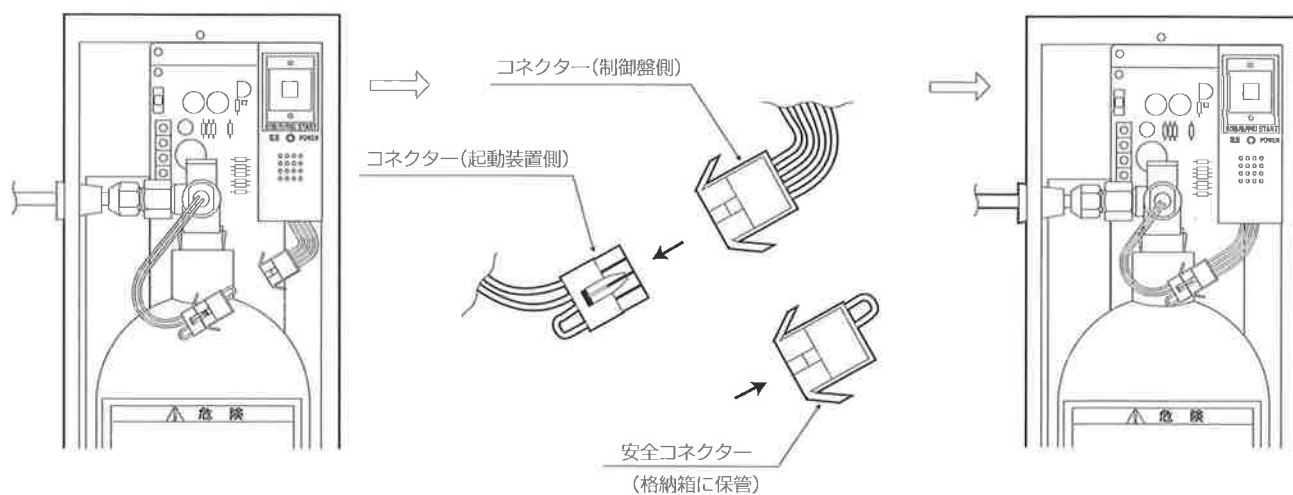
COX-7KZ



Chapter 4

CABINEX-KZ

- 警告 ⑨起動装置側から出ているコネクタを、制御盤側の対応するコネクタに差し込んで、確実に接続してください。
- ・ガス発生式起動装置に付属している安全コネクタは制御盤のコネクタに接続する直前にはずしてください。安全コネクタを入れずに作業すると作業中に静電気で作動するおそれがあります。
 - ・安全コネクタは必ず格納箱の中に保管してください。



第5章

取付後の作動確認テスト

1. 作動確認前の準備

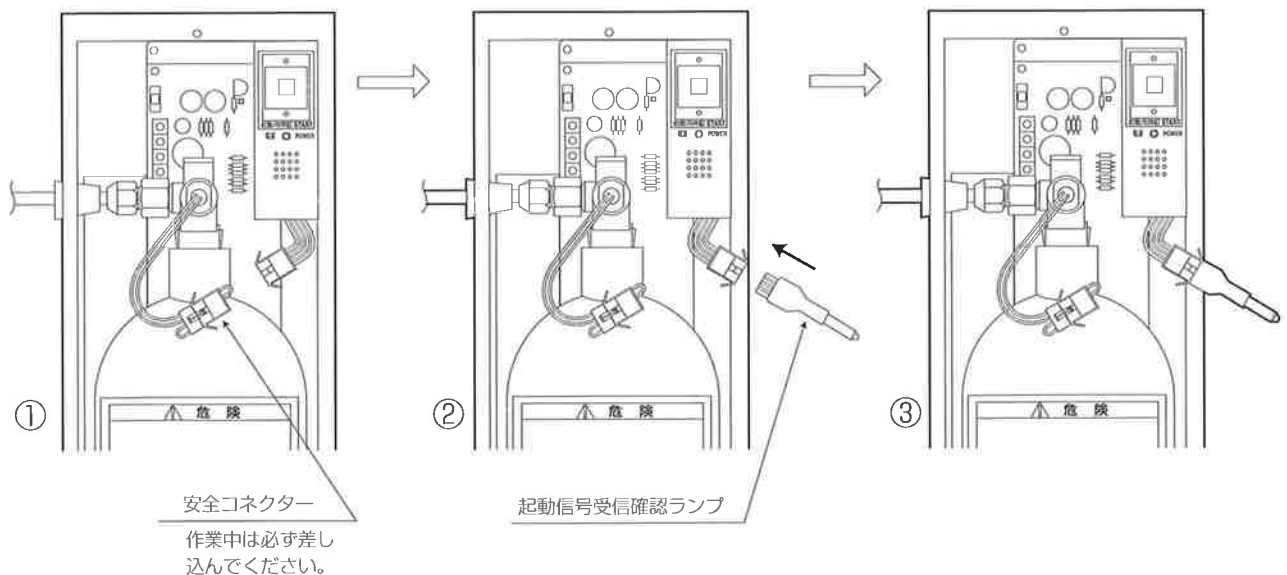
キャビネックスKZの取付けがすべて完了したら、次の手順で作動確認テストを行ってください。

①キャビネックスKZの起動装置と消火剤は一度使用すると再使用できません。システムの起動の可否は「起動信号受信確認ランプ」を用いて行います。

起動装置と端子台を接続しているコネクタを外して、かわりに確認ランプから出ているコネクタと端子台から出ているコネクタを接続してください。

・安全コネクタは必ず格納箱の中に保管してください。

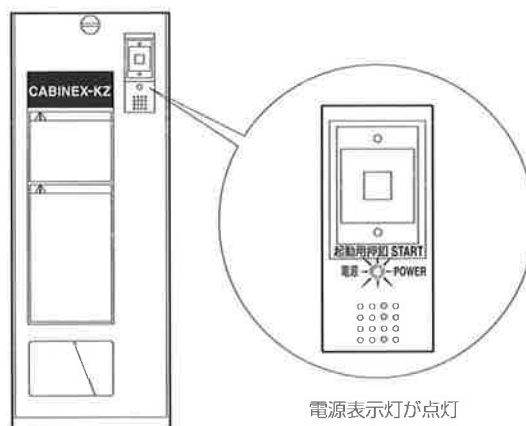
■注意 コネクタを外すと電源ランプが点滅し、ブザーがフリッカーします。又、異常通報が作動します。



②キャビネックスKZの電源スイッチをONにして電源表示灯の点灯を確認してください。

他の機器を連動させている場合は、連動させているすべての電源をONにしてください。キャビネックスKZ作動時における連動確認を行います。

■注意 電源スイッチが OFFの時、異常通報(停電)が作動します。ONにすれば復旧します。



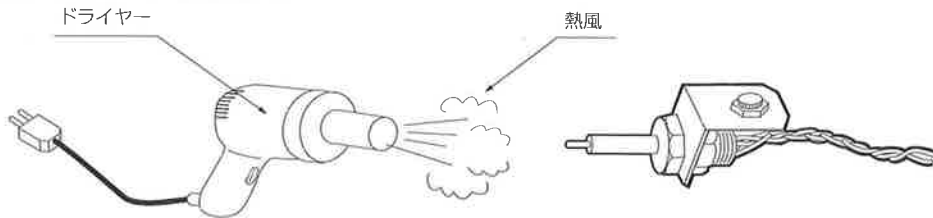
Chapter 5

CABINEX-KZ

2.自動作動確認テスト

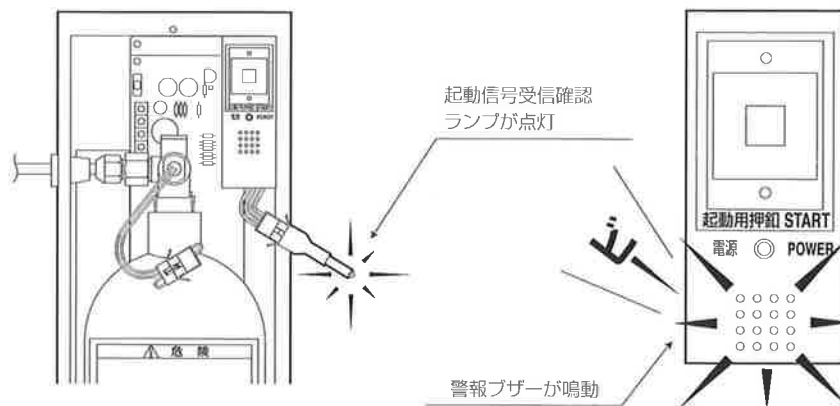
次の手順と要領で自動作動確認テストを行ってください。

- 注意 ①熱センサーの感知部をドライヤーで加熱してください。
この時、ドライヤーのかわりにライター flame を直接当てるなどすると、熱センサーが破損しますので絶対にしないでください。



- ②加熱された熱センサーが反応し火災検知状態となり、システムが起動します。
以下の要領で起動後の動作確認を行ってください。

- ・ 起動信号受信確認ランプが点灯……………正常
- ・ 警報ブザーが鳴動……………正常
- ・ 機械停止通報と接続している装置や機器が連動停止……………正常



- ③制御盤の電源を遮断(電源スイッチをOFF側に倒す)し、それに伴う動作確認を以下の要領で行ってください。

- ・ 電源表示灯がゆっくり消灯……………正常
(LEDランプなので多少時間がかかります)
- ・ 警報ブザーが鳴動停止……………正常



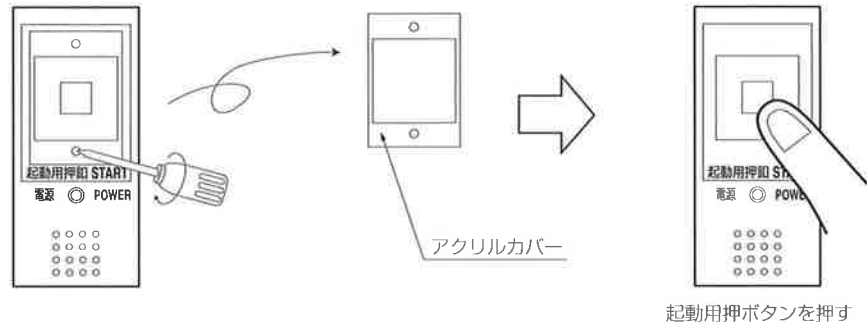
- ④制御盤の電源を再入力(電源スイッチをON側に倒す)し、それに伴う動作確認を以下の要領で行ってください。

- ・ 電源表示灯が点灯……………正常
- ・ 連動停止している装置や機器が復旧……………正常

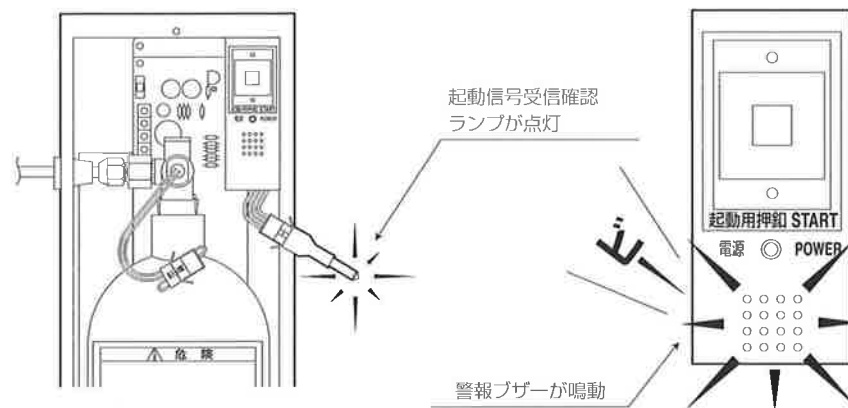
- 注意 ⑤2個以上の熱センサーを接続している場合は、すべての熱センサーについて同じ確認テストを行ってください。

3.手動作動確認テスト

①操作パネルの亚克力カバーを取外し、起動用押ボタンを押して、起動後の動作確認を以下の要領で行ってください。



- ・ 起動信号受信確認ランプが点灯……………正常
- ・ 警報ブザーが鳴動……………正常
- ・ 機械停止通報と接続している装置や機器が連動停止……………正常



②制御盤の電源を遮断(電源スイッチをOFF側に倒す)し、それに伴う動作確認を以下の要領で行ってください。

- ・ 電源表示灯がゆっくり消灯……………正常
(LEDランプなので多少時間がかかります)
- ・ 警報ブザーが鳴動停止……………正常

③制御盤の電源を再入力(電源スイッチをON側に倒す)し、それに伴う動作確認を以下の要領で行ってください。

- ・ 電源表示灯が点灯……………正常
- ・ 連動停止している装置や機器が復旧……………正常

※リモート押ボタンを設置している場合は、同じ要領でテストを行ってください。

※作動確認テストの結果、正常な動作が見られない場合は結線等をチェックしてください。故障箇所が発見できない場合は制御盤等を交換してください。

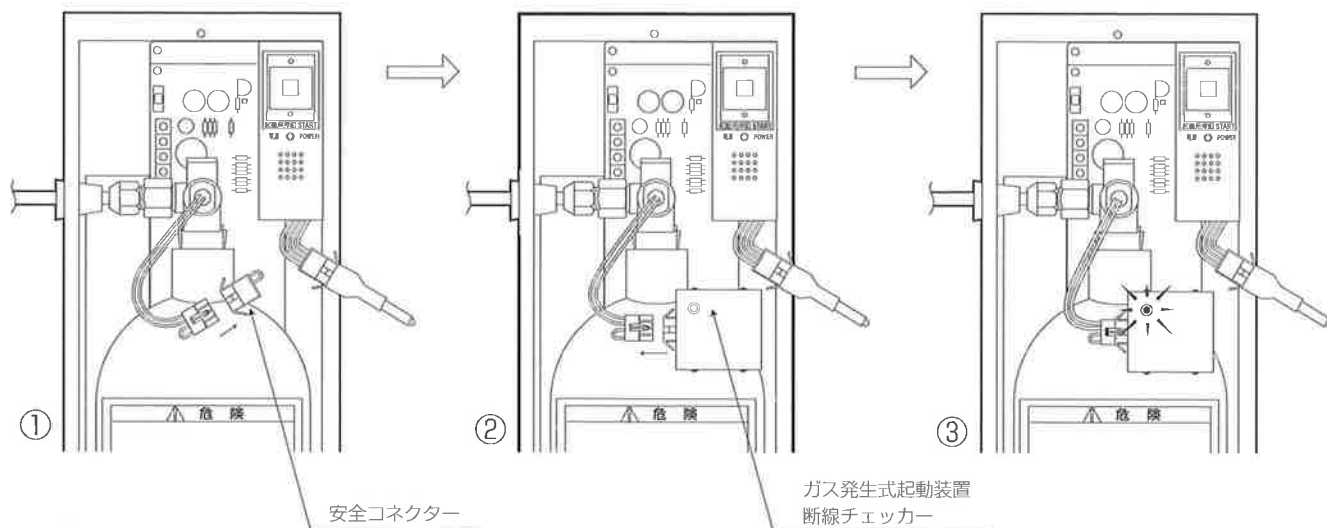
Chapter 5

CABINEX-KZ

4. ガス発生式起動装置の導通確認テスト

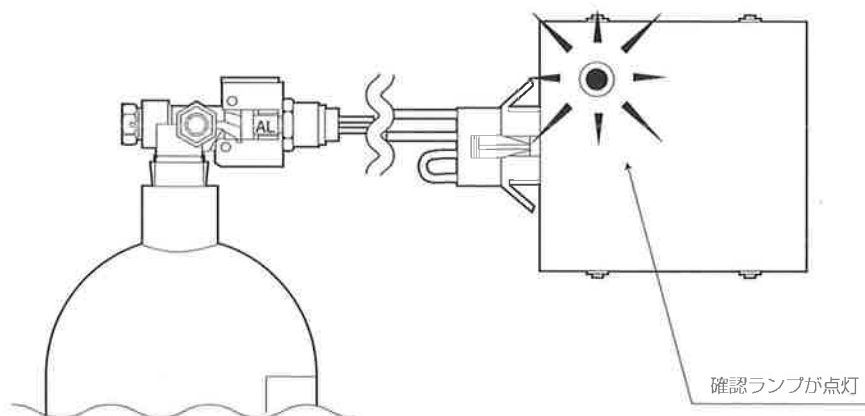
① ガス発生式起動装置をセットする前に必ずガス発生式起動装置専用の断線チェッカーで導通していることを確認してください。(市販のテスター等を用いてのテストでは作動する恐れがあります。)

起動装置側のコネクタと安全コネクタを外して、ガス発生式起動装置断線チェッカーを接続してください。安全コネクタは必ず格納箱に保管してください。



② 接続と同時にガス発生式起動装置断線チェッカーの確認ランプが点灯すれば導通確認テスト終了です。

・ 接続と同時に確認ランプが点灯……………正常



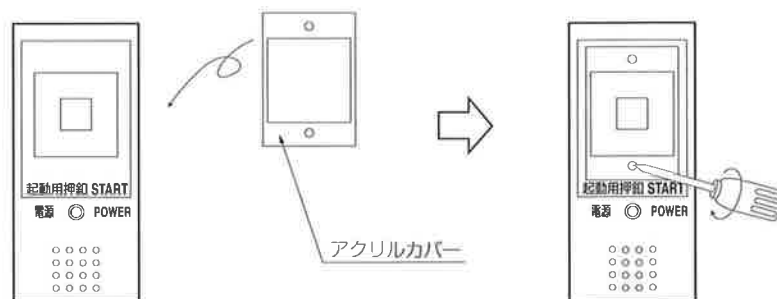
第6章

作動確認テスト後の復旧と引渡

キャビネックスKZの作動確認テストがすべて完了したら、正常な監視状態に復旧してエンドユーザーにお引き渡しください。

1.正常な監視状態への復旧方法

①起動用押ボタン(リモート押ボタンがある場合は同様に)のアクリルカバーを取付けてください。



②配管や配線、各 부품の接続部に緩みや折れ、切断、破損等がないか確認してください。故障箇所があれば補修してください。

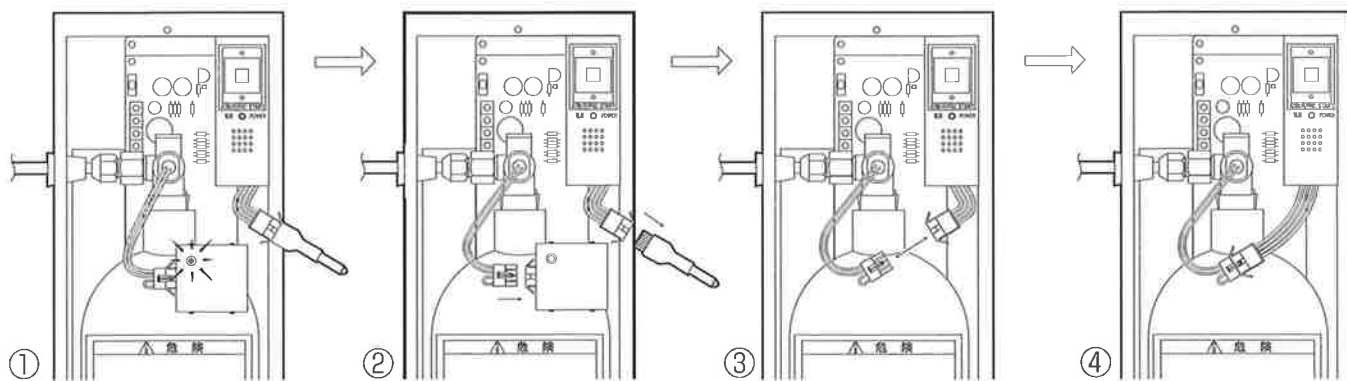
③配管防水パッキンが正常な位置に入っているか確認してください。(P18を参照)

④本体格納箱内部の機器が正しく固定されているか確認してください。

⑤機械停止通報に接続されている装置や機器が、完全に固定されているか確認してください。装置や機器によっては各装置メーカー・機械メーカー様に確認してもらってください。

⑥消火剤貯蔵容器の高圧容器(特定容器)に所有者シールを貼付けてください。

●注意 ⑦起動信号受信確認ランプ及び断線チェッカーを取外して、起動装置側のコネクターに制御盤側のコネクターを差し込んで、確実に接続してください。



⑧供給電源を入力(電源スイッチをON側に倒す)にして、下記を確認してください。

- ・電源表示灯が点灯……………正常
- ・警報ブザーが鳴動停止……………正常
- ・起動装置が作動せず……………正常
- ・連動停止装置や機器が運転可能状態……………正常

⑨キャビネックスKZの扉を取付けてください。

Chapter 6

CABINEX-KZ

- 注意 キャビネックスKZはエンドユーザーの工場等で直接取付けする場合と、機械メーカー等の工場で行われてエンドユーザーに転送される場合があります。次の要領でそれぞれの場合の引き渡しと「検査合格確認書」の確認取得(印かサインをもらう)を行ってください。

2. エンドユーザーの工場で行取付の場合

- ① エンドユーザー立ち会いの下、取付後の作動確認テスト(詳細は第5章参照)と取扱説明を必ず行ってください。
- ② 「検査合格確認書」にエンドユーザーの確認印かサインをもらってください。
※この時、どのようなセット状態で引き渡したのか明記しておいてください。特に電源供給の是非や起動装置のコネクター接続の是非については注意して明記の上、確認印またはサインをもらってください。
- ③ 納入通知書(品質保証書と2枚綴り)に必要な事項を記入してください。品質保証書はエンドユーザーに渡し、納入通知書はキャビネックスKZの製造元までご送付ください。
- ④ 「施工時機能確認シール」に必要な事項を記入して、専用ポケットに入れてください。

3. 機械メーカーの工場で行取付の場合

- ① 機械メーカー立ち会いの下、取付後の作動確認テスト(詳細は第5章参照)と取扱説明を必ず行ってください。
- ② 「検査合格確認書」に機械メーカーの確認印かサインをもらってください。
※この時、どのようなセット状態で引き渡したのか明記しておいてください。特に電源供給の是非や起動装置のコネクター接続の是非については注意して明記の上、確認印またはサインをもらってください。
- ③ 「施工時機能確認シール」に必要な事項を記入して、扉表面のシールホルダーに入れてください。

……………キャビネックスを機械メーカー工場からエンドユーザーに転送……………

- ④ 機械メーカーからエンドユーザーへの転送後、機械メーカーのサービス担当の方は、エンドユーザー立ち会いの下、取付後の作動確認テスト(詳細は第5章参照)と取扱説明を必ず行ってください。
- ⑤ 機械メーカーの専用の引渡証等に確認印かサインをもらってください。
※この時、どのようなセット状態で引き渡したのか明記しておいてください。特に電源供給の是非や起動装置のコネクター接続の是非については注意して明記の上、確認印またはサインをもらってください。
- ⑥ 納入通知書(品質保証書と2枚綴り)に必要な事項を記入してください。品質保証書はエンドユーザーに渡し、納入通知書はキャビネックスKZの製造元までご送付ください。

第7章

キャビネックスKZの維持点検

注意 キャビネックスは万が一の火災時に支障なく作動し、消火効力を充分発揮できるように、維持には十分配慮の上、日常点検や定期点検は必ず行ってください。

1. 日常点検

注意 始業前には次の日常点検を必ず行ってください。

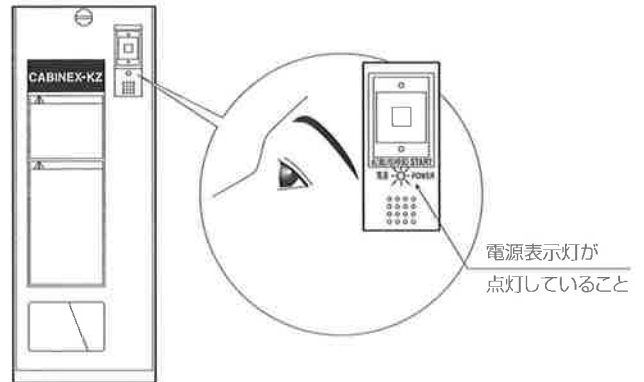
①電源表示灯が点灯しているか確認してください。

点灯……………▶正常

点滅……………▶異常

消灯……………▶異常

(電源表示灯は常時必ず点灯させておいてください)

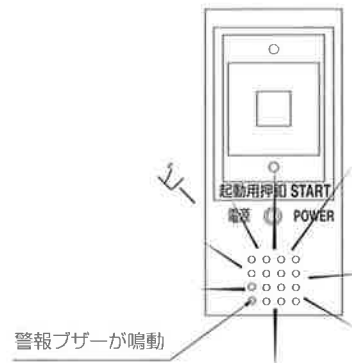


②警報ブザーが鳴動していないか確認してください。

ブザー消音……………▶正常

ブザー鳴動(連続音)……▶異常

ブザー鳴動(断続音)……▶異常



③熱センサーの固定が緩んでいたり、熱センサーにゴミ等が付着していないか確認してください。簡単な緩みは固定し直し、ゴミ等はふき取ってください。

④配線が緩んだり、切断されたり、垂れ下がったりしていないか確認してください。配管防水パッキンが緩んでいないか確認してください。

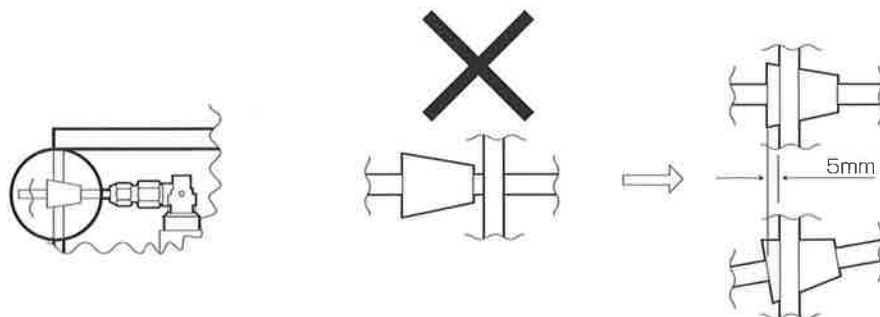
⑤放出ノズルの固定が緩んでいたり、筒先にゴミ等が付着していないか確認してください。簡単な緩みは固定し直し、ゴミ等はふき取ってください。

⑥配管が折れ曲がったり、切断されたり、垂れ下がったりしていないか確認してください。

注意 ※異常が感じられたら、即納入会社かサービス会社にご連絡ください。

※防護対象物を稼働させる際は必ず扉を閉じて稼働させてください。

注意 ⑦工作機械等の輸送及び運転中の振動で配管防水パッキンが緩む事があります。必ず所定の位置迄(格納箱の外部に5mm程度)入っていることを確認してください。



Chapter 7

CABINEX-KZ

2. 定期点検

- 注意 ①消防用設備は一般的に6ヶ月に一度の定期点検が義務づけられています。
キャビネックスKZについても6ヶ月に一度の定期点検は必ず実施してください。
- ②定期点検は、消防設備士か消防設備点検資格者が必ず実施してください。
定期点検は納入会社およびサービス会社で承っていますのでご利用ください。
- 注意 ③定期点検では、外観機能点検、総合点検を必ず実施してください。
外観機能点検および総合点検の詳細は、点検要領書および点検結果報告書(いずれも別途資料)をご参照ください。
定期点検実施の際は点検結果報告書を必ず受け取って(点検実施者が作成)ください。

3. 作動後の処置

- ①キャビネックスKZの作動後は、まず専用の供給電源ラインを遮断するか、本体格納箱の扉を開けて、プリント基板上の電源スイッチを切って(OFF側に倒す)ください。ブザーが鳴り止みます。
- 注意 ②納入会社かサービス店にキャビネックスKZが作動した旨を連絡してください。
 - ・一度消火剤の放出が始まると消火剤はすべて放出されてしまいます。従って消火剤貯蔵容器の交換が必要です。必ず交換してください。
 - ・起動装置は使い捨てです。一度起動した起動装置は交換が必要です。必ず交換してください。
 - ・熱センサー、放出ノズル等各部品の形状確認、機能確認が必要です。必ず行ってください。
作動後の復旧処理は必ず納入会社およびサービス会社で実施してください。

消防用システム&機器

株式会社 初田製作所

お客様相談窓口

お問い合わせ・ご相談は
フリーダイヤルどうぞ

☎0120-82-2041

電話受付時間 10:00~12:00, 13:00~16:00 (土・日・祝日を除く)